

## 局長挨拶

平成25年度の森林・林業技術等交流発表会の開催に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。

本日は、大変お忙しい中、こうして多数の方にお集まりいただきましたことを、厚く御礼申し上げます。

この発表会は、今回で59回目を迎えることができました。このように長きにわたり開催することができたのは、一重に皆様方の御支援の賜と感謝申し上げます。

また、本日の開催に当たり、森林総合研究所多摩森林科学園長の吉丸審査委員長はじめ、審査員の皆様には、大変お忙しい中ご出席をいただき、厚く御礼申し上げますとともに、本日の審査及びご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

今年度から国有林野事業は特別会計から一般会計に移行し、関東森林管理局においても、民有林・国有林の連携を拡大し①国産材の安定供給、木質バイオマス資源の活用などニーズに対応した協定体制を拡大することによる国産材の安定的・効率的な供給体制の構築の支援②森林共同施業団地の設定等民国連携による施業の推進を通じた施業集約化の支援③シカの食害等野生鳥獣被害への効果的・効率的な対策の推進④東日本大震災からの復旧・復興への取組等に取り組んでいくこととしています。

このような状況を踏まえ、平成25年度の森林・林業技術等発表会においては、当局管内の独立行政法人、都県、市町村、林業事業者等の民有林関係者にも幅広く参加を呼びかけ、各地域の試行的な取組によって得られた新たな技術や知見等を多くの関係者が共有し、さらなる改善に結びつけ、地域林業の再生に寄与することを目的として開催致しました。また、今年度から学校関係者の方々にも新たに発表に加わって頂いております。

本日発表される25課題のテーマは、大変多岐に亘っており、発表者それぞれが、日頃の業務の中で疑問に感じることや解決しなければならない問題を自らに課し、問題解決に向け真摯に取り組んできた姿勢が伺えます。このような取り組みこそが民有林から頼られる技術力向上に繋がるものだと思います。

本日発表される皆様におかれましては業務の傍ら発表準備等で大変だったと思いますが、様々な面で良い経験になると思います。しかし、このような場で発表を行う事は、自らの研究内容の問題点をはっきりと認識し、技術力を向上させる良い機会であると思います。

結びに、本日の発表会の成果が少しでも、我が国の森林・林業、木材産業の発展に貢献できますことを祈念いたしまして開催に当たっての挨拶とさせていただきます。